

# 岡山県感染症週報 2012 年 第 8 週 (2 月 20 日～2 月 26 日)

➤ 3 月 1 日から 3 月 7 日は『子ども予防接種週間』です。

➤ 岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

## ◆2012 年 第 8 週 ( 2 / 20 ～ 2 / 26 ) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第 6 週 2 類感染症 結核 2 名 ( 20 代 女 1 名、40 代 女 1 名 )

第 7 週 2 類感染症 結核 4 名 ( 20 代 男 1 名、50 代 男 1 名・女 1 名、80 代 男 1 名 )

第 8 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 ( 50 代 女 )

### ■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 1,746 名 ( 定点あたり 20.79 人 ) の報告があり、第 4 週をピークに 4 週連続で減少しました。

○感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数でした。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、今年に入り増加傾向です。

### 【第 9 週 速報】

○インフルエンザとみられる臨時休業が、77 施設ありました ( 2 月 27 日～3 月 1 日まで ) 。

▽岡山市 30 ▽倉敷市 20 ▽備前地域 16 ▽備中地域 6 ▽備北地域 0 ▽真庭地域 2 ▽美作地域 3

○水痘による学年閉鎖が、倉敷市の幼稚園でありました。 ( 2 月 27 日 )

1. **インフルエンザ**は、県全体で 1,746 名 ( 定点あたり 20.79 人 ) の報告があり、前週 ( 定点あたり 23.96 人 ) より減少しました。岡山県では、大きな流行が継続している可能性があることから、ひきつづき『**インフルエンザ警報**』を発令し、注意喚起を図っています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『**インフルエンザ情報**』をご覧ください。  
全国の第 7 週 ( 2/13～2/19 ) 定点あたり報告数は 35.44 人であり ( 前週 40.34 人 ) 、2 週連続で減少しましたが、依然として高いレベルにあります。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした ( 定点あたり 8.11 → 7.98 人 ) 。感染性胃腸炎による学級閉鎖が 1 施設でありました。詳しくは『**感染性胃腸炎情報**』をご覧ください。
3. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、1 月から増加傾向です。詳しくは『**今週の注目感染症**』をご覧ください。
4. **麻疹**は、今週発生がありませんでした。岡山県では、今年はまだに 5 名の麻疹患者が発生しています。このうち 1 名が、2 月 16 日～17 日にグリーンヒルズ津山で開催された「平成 23 年度岡山県介護支援専門員実務研修」に参加しており、岡山県は麻疹の感染拡大防止について注意を呼びかけています ( [岡山県：麻疹 \( はしか \) の感染拡大の恐れについて](#) ) 。麻疹はウイルスに感染後、通常 10～12 日の潜伏期間ののち、初期症状として発熱、咳、鼻水、結膜炎症状が現れます。2 回の**予防接種**で防ぐことができ、ワクチン接種が最も有効な予防法です。  
全国の麻疹発生状況は、こちらをご覧ください。 ( [国立感染症情報センター](#) )

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		★★

【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少    ↓ 1.1～2倍未満の減少    → 1.1未満の増減

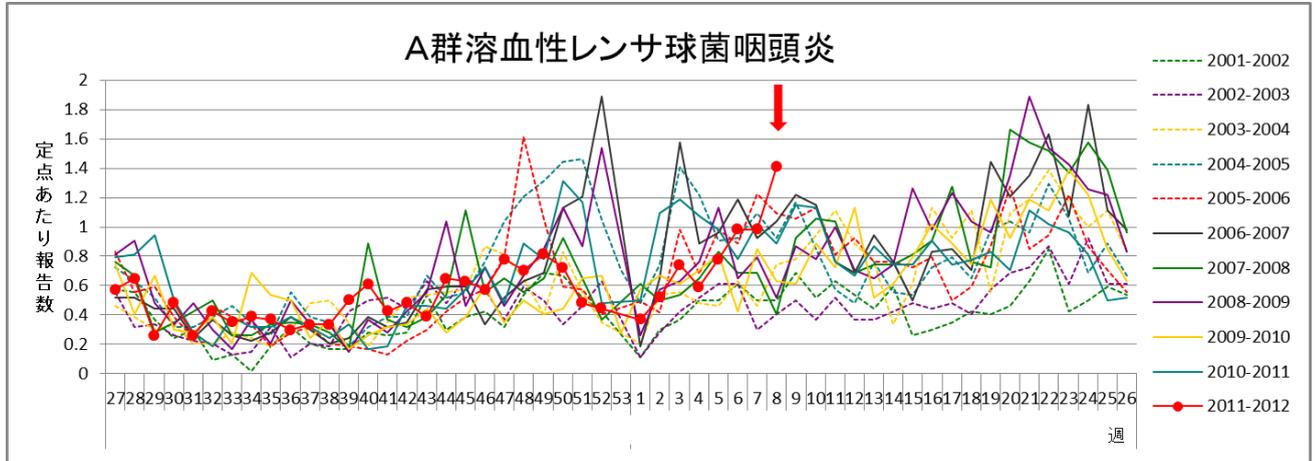
↑ 1.1～2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし    ★僅か    ★★少し    ★★★やや多い    ★★★★★多い    ★★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

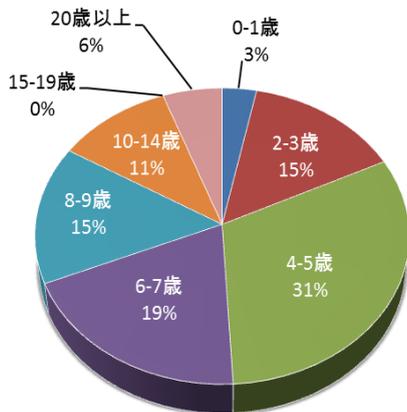


※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

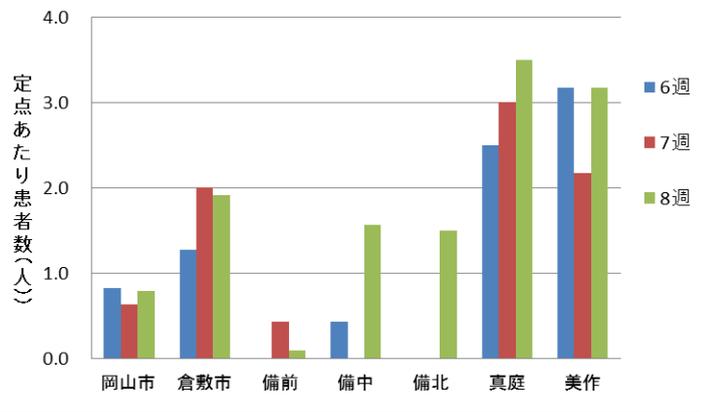
岡山県では、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が1月から増加傾向であり、第8週は前週に比べ大きく増加しました（定点あたり0.98→1.41人）。地域別では、倉敷市、真庭地域、美作地域で患者が多く発生しています。年齢別では、4～5歳が最も多く、3歳以上の幼児・児童に多くみられます。

例年、冬と春から初夏にかけて2回の流行が見られます。今後も患者の増加が懸念されますので注意してください。

岡山県 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢別患者割合



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 地域別患者発生推移



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは】

A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症です。

【症状】

感染後、2～5日で発症します。突然の発熱、体のだるさ、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、口腔内に小点状出血や莓舌がみられることがあります。通常発熱は3～5日以内に下がり、症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫のない場合は猩紅熱に発展する場合があります。また、まれに肺炎、髄膜炎などの合併症を起こすこともありますので注意が必要です。

【感染経路】

患者との接触によるヒトからヒトへの接触感染、飛沫感染が主であり、接触機会の多い家庭での兄弟間や、幼稚園、学校などで感染します。

患者との濃厚接触を避ける、うがい・手洗いなどの一般的な予防法が有効です。

## インフルエンザ情報 第 8 週 2012 年 2 月 20 日 ~ 2 月 26 日

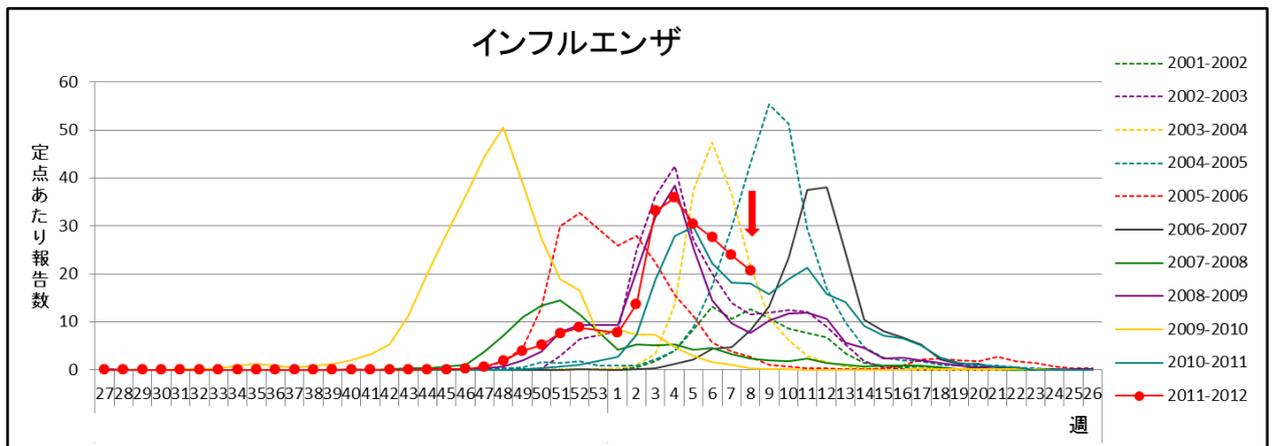
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 1,746 名（ 定点あたり 20.79 人 ）となり、第 4 週をピークに減少傾向です。
- 県全体では感染症発生レベル 3 で、流行が継続しています。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 94 施設でありました。
- 散発事例からインフルエンザウイルス B 型（山形系統）が 1 例検出されました。
- インフルエンザによる入院患者が、6 名ありました。

【速報】第 9 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 77 施設でありました。（ 2 月 27 日～3 月 1 日まで）

▽岡山市 30 ▽倉敷市 20 ▽玉野市 5 ▽瀬戸内市 4 ▽和気町 4 ▽備前市 3 ▽真庭市 2 ▽井原市 2  
▽総社市 2 ▽美作市 1 ▽笠岡市 1 ▽久米南町 1 ▽美咲町 1 ▽早島町 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 1,746 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 20.79 人 ）であり、前週（ 2,013 名 定点あたり 23.96 人 ）より減少しました。第 4 週（ 35.88 人 ）をピークとして減少傾向です。岡山県は、大きな流行が継続している可能性があることから、ひきつづき『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。地域別では、倉敷市（ 33.69 人 ）、真庭地域（ 33.33 人 ）、備前地域（ 19.47 人 ）、岡山市（ 18.82 人 ）、備中地域（ 16.83 人 ）、備北地域（ 15.17 人 ）、美作地域（ 10.80 人 ）の報告があり、備北地域を除く県内全域で減少しました。しかし、倉敷市や真庭地域では依然として警報発令基準の定点あたり 30.00 人を越え、また、備北地域では患者が増加しています。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、美作地域・備北地域がレベル 2 であり、患者数は減少したものの流行は継続しています。

県内のインフルエンザウイルスの主流は AH3 型ですが、B 型の流行も確認されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがあります。ひきつづき『外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケット<sup>※</sup>を心がけましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

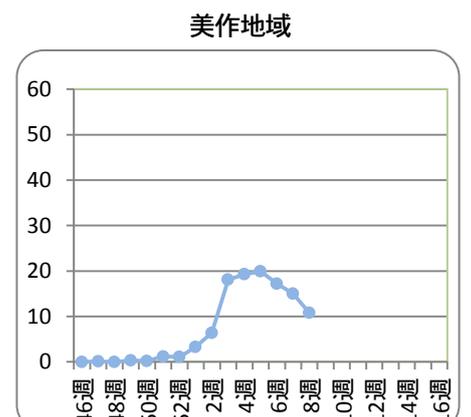
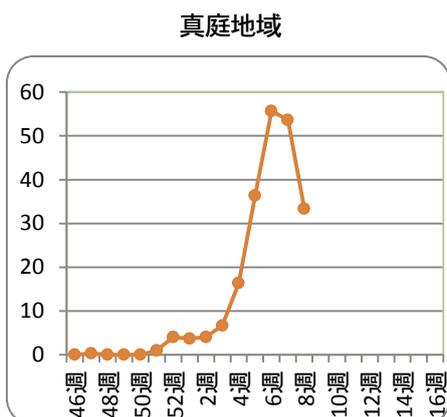
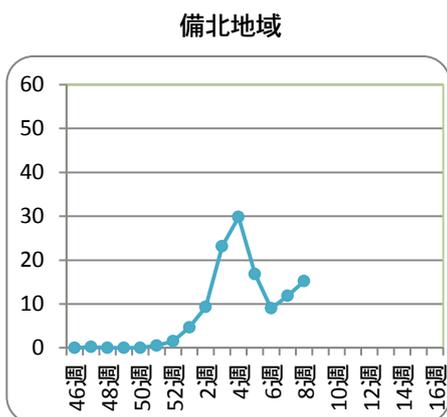
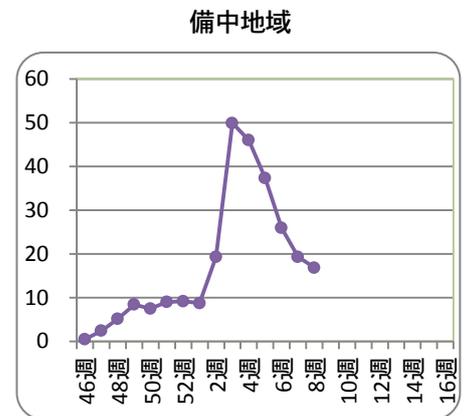
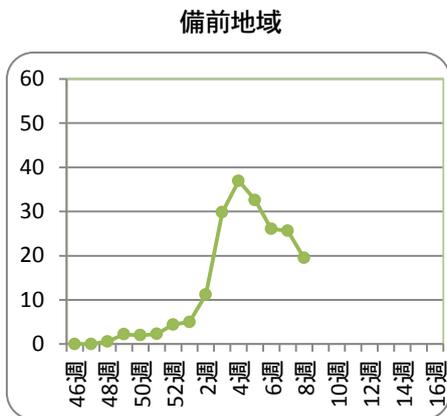
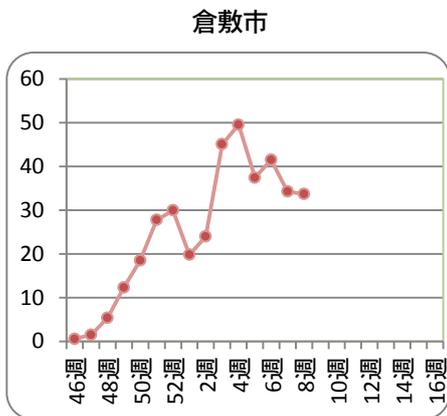
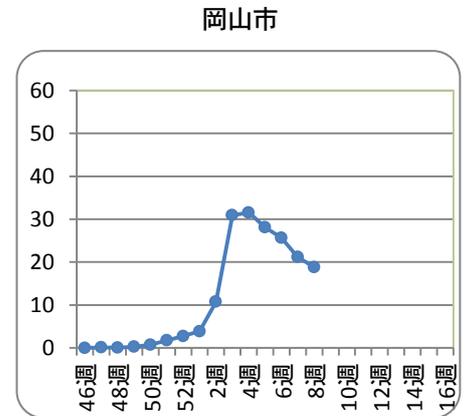
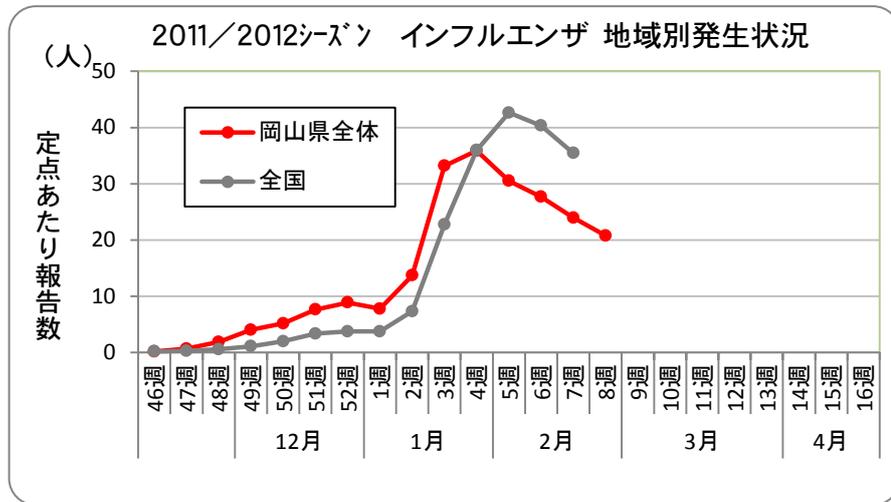
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

# 1. 地域別発生状況

第8週 (2/20~2/26) 前週からの推移 (単位: 人)

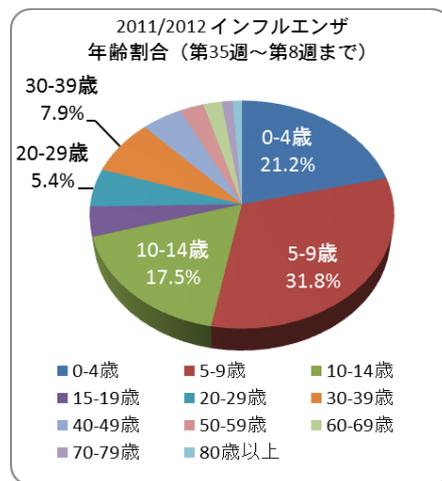
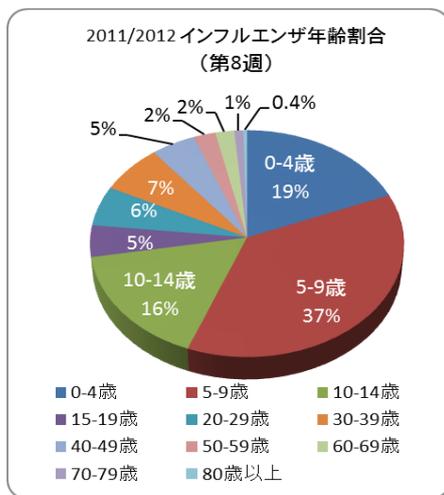
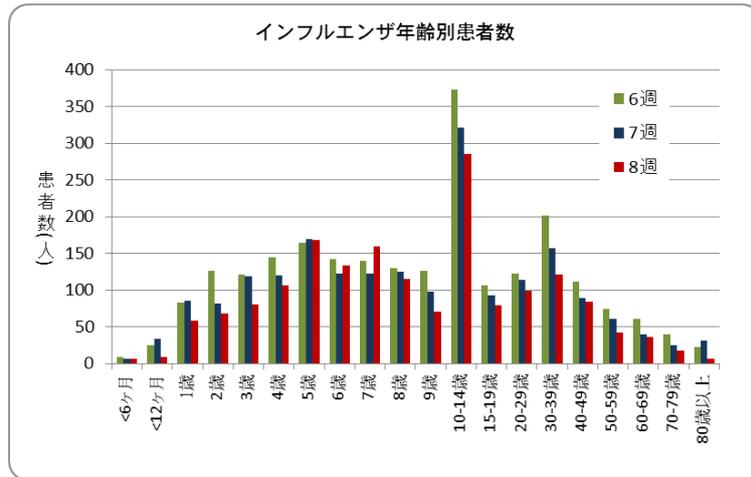
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,746	↓	備 中	患者数	202	↓
	定点あたり	20.79			定点あたり	16.83	
岡山市	患者数	414	↓	備 北	患者数	91	↗
	定点あたり	18.82			定点あたり	15.17	
倉敷市	患者数	539	↗	真 庭	患者数	100	↗
	定点あたり	33.69			定点あたり	33.33	
備 前	患者数	292	↓	美 作	患者数	108	↓
	定点あたり	19.47			定点あたり	10.80	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少    ↘ 1.1~2倍未満の減少    → 1.1未満の増減  
 ↗ 1.1~2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加



## 2. 年齢別患者発生状況 第8週（2/20～2/26）

第8週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の37%で最も多く、0-4歳が19%、10-14歳が16%の順であり、ひきつづき幼稚園児・小学生に該当する年齢層が多くを占めています。



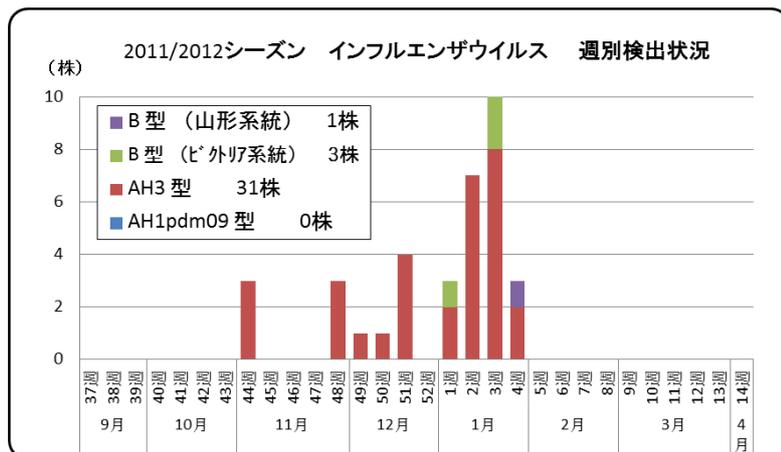
### ➤ インフルエンザウイルス検出状況 第8週（2/20～2/26）

第4週に採取された岡山市小学生の散発事例から、B型（山形系統）が検出されました。岡山県で山形系統が検出されるのは、今シーズン初めてです。岡山県でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスはAH3型が31株、B型が4株です。

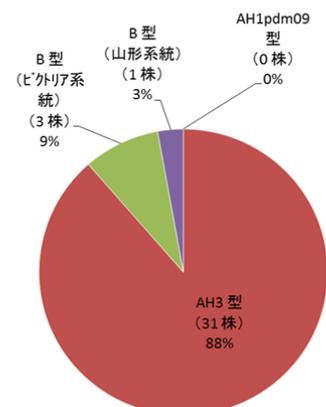
全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く86.8%、B型が13.0%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流ですが、徐々にB型の検出も増加しています。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン\)](#)

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス B 型	第4週	2012年1月24日	岡山市	小学生	女	山形系統



2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス 型別検出割合 (n=35)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第8週 (2/20~2/26)

学校等の臨時休業が県内全域の94施設でありました。

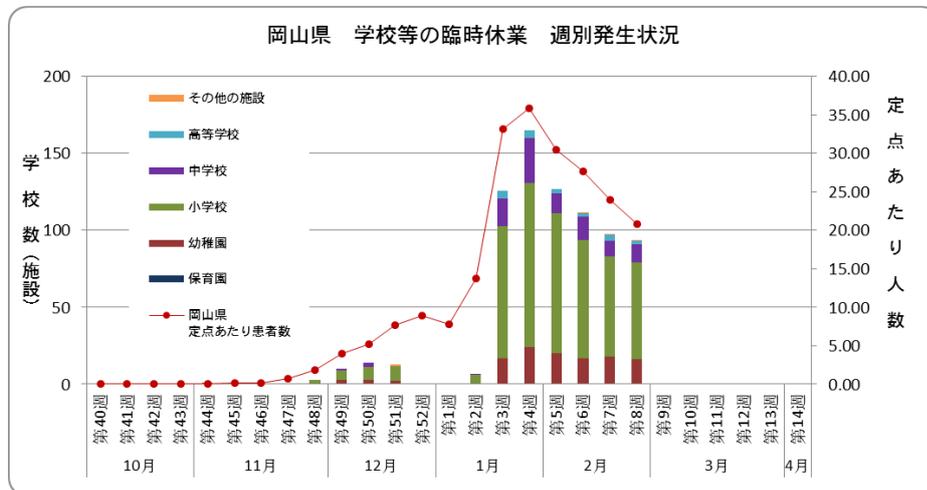
措置別：休園・休校 7施設、学年閉鎖 30施設、学級閉鎖 57施設

施設別：幼稚園 16施設、小学校 63施設、中学校 12施設、高等学校 2施設、その他 1施設

有症者数は1,154名、うち欠席者数913名でした。

第8週までの合計は、有症者数12,299名、うち欠席者数8,944名、施設数はのべ770施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第8週】

(第9週発生者の臨時休業数の掲載は、第9週週報で行います。)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>1,154</b>	<b>12,299</b>	<b>913</b>	<b>8,944</b>	<b>94</b>	<b>770</b>	<b>7</b>	<b>32</b>	<b>30</b>	<b>218</b>	<b>57</b>	<b>520</b>	<b>H23.10.31</b>
岡山市	527	5,354	393	3,694	34	301	0	3	7	54	27	244	H23.12.15
倉敷市	251	2,838	209	2,133	23	168	2	6	7	30	14	132	H23.10.31
備前地域	168	1,496	129	1,207	16	109	0	4	8	48	8	57	H23.12.5
備中地域	124	1,260	110	1,053	10	102	1	8	1	38	8	56	H23.11.30
備北地域	23	302	22	216	2	27	1	2	1	12	0	13	H24.1.16
真庭地域	59	471	48	287	8	25	3	6	5	15	0	4	H24.1.13
美作地域	2	578	2	354	1	38	0	3	1	21	0	14	H24.1.16

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第8週 (2/20~2/26)

岡山市：幼稚園6 小学校24 中学校3 その他1

倉敷市：幼稚園6 小学校14、中学校2、高等学校1

備前地域：小学校12 中学校4

備中地域：小学校8 中学校1、高等学校1

備北地域：幼稚園1 中学校1

真庭地域：幼稚園2 小学校5、中学校1

美作地域：幼稚園1

第8週：94施設

累計：770施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	16	120	63	523	12	102	2	21	1	4

**【第9週 学校等の臨時休業 速報】(2/27～3/1まで)**

**【措置別】**

休校4施設：岡山市1、備前市1、井原市1、真庭市1、

学年閉鎖24施設：岡山市6、倉敷市3、備前市2、瀬戸内市3、和気町4、総社市1、笠岡市1、井原市1、真庭市1、美咲町1、久米南町1

学級閉鎖49施設：岡山市23、倉敷市17、玉野市5、瀬戸内市1、総社市1、早島町1、美作市1

【施設別】▽保育園0▽幼稚園20▽小学校52▽中学校4▽高等学校1▽その他0

**【日付・地域別】**

2月27日▽岡山市：14▽倉敷市：9▽備前地域：玉野市2、備前市2、瀬戸内市2、和気町1  
(36施設)▽備中地域：総社市1、井原市1▽真庭地域：真庭市2、▽美作地域：久米南町1、美咲町1

2月28日▽岡山市：6▽倉敷市：6▽備前地域：瀬戸内市2▽備中地域：総社市1、笠岡市1  
(16施設)

2月29日▽岡山市：2▽倉敷市：2▽備前地域：備前市1、玉野市2、和気町2▽美作地域：美作市1  
(10施設)

3月1日▽岡山市：8▽倉敷市：3▽備前地域：玉野市1、和気町1▽備中地域：井原市1、早島町1  
(15施設)

➤ **入院時の状況と年齢別内訳 第8週 (2/20～2/26) (県内基幹定点5医療機関による報告)**

第8週、インフルエンザによる入院患者6名(幼児1名、40代1名、60代1名、70代2名、80代以上1名)が報告されました。入院患者の多くは、70歳以上の高齢者(40%)と5歳以下の幼児(35%)です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

**【第8週 入院患者数】**

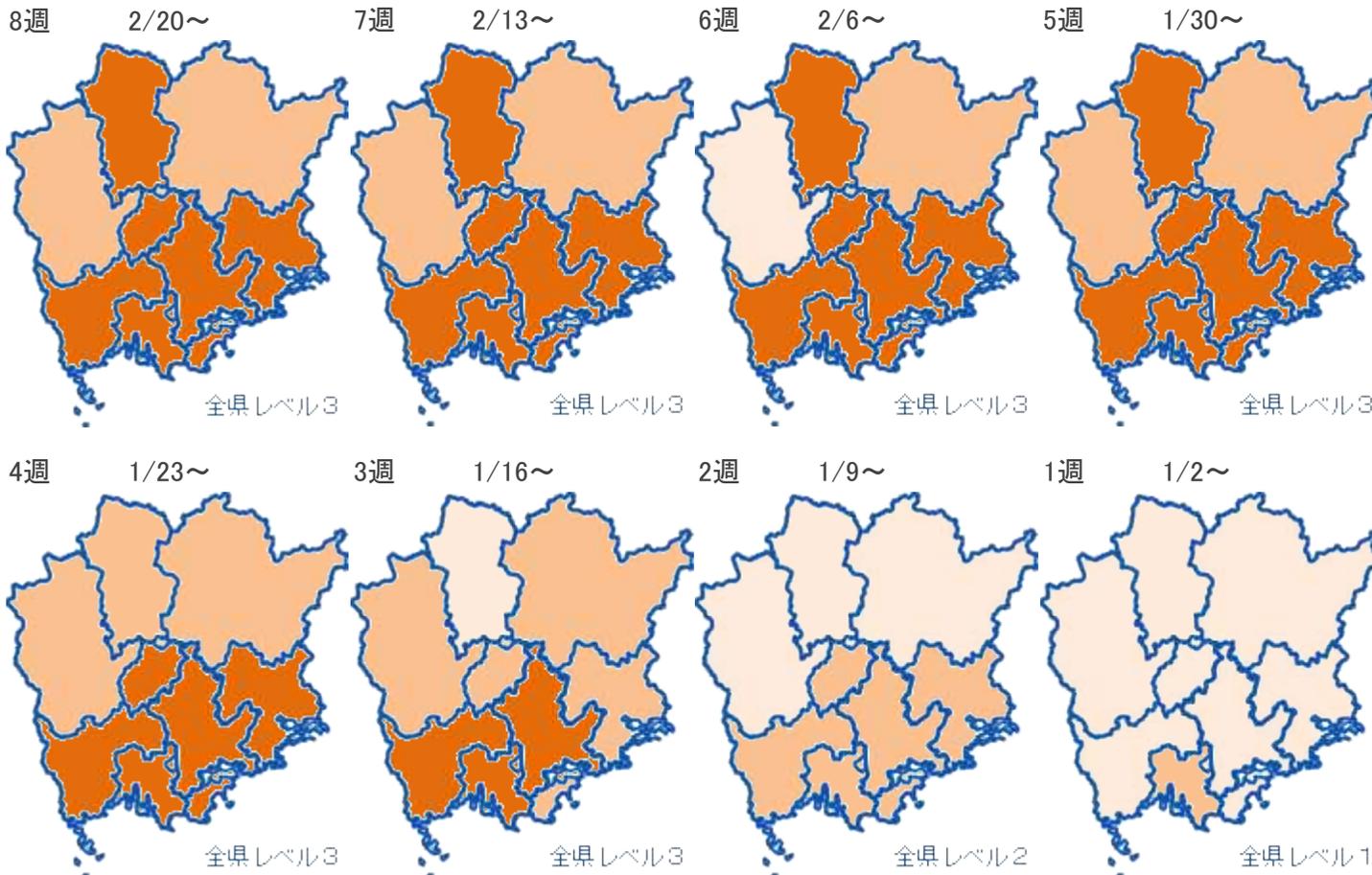
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数			1					1		1	2	1	6
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)													
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず			1					1		1	2	1	6

\*重複あり

**【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】**

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	7	17	9	2	1	1	1	1		5	13	18	75
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)		6	3	1	1						4	1	16
頭部MRI検査(予定含)		2									3	1	6
脳波検査(予定含)		5									3	1	9
いずれにも該当せず	7	9	6	1		1	1	1		4	7	17	54

\*重複あり



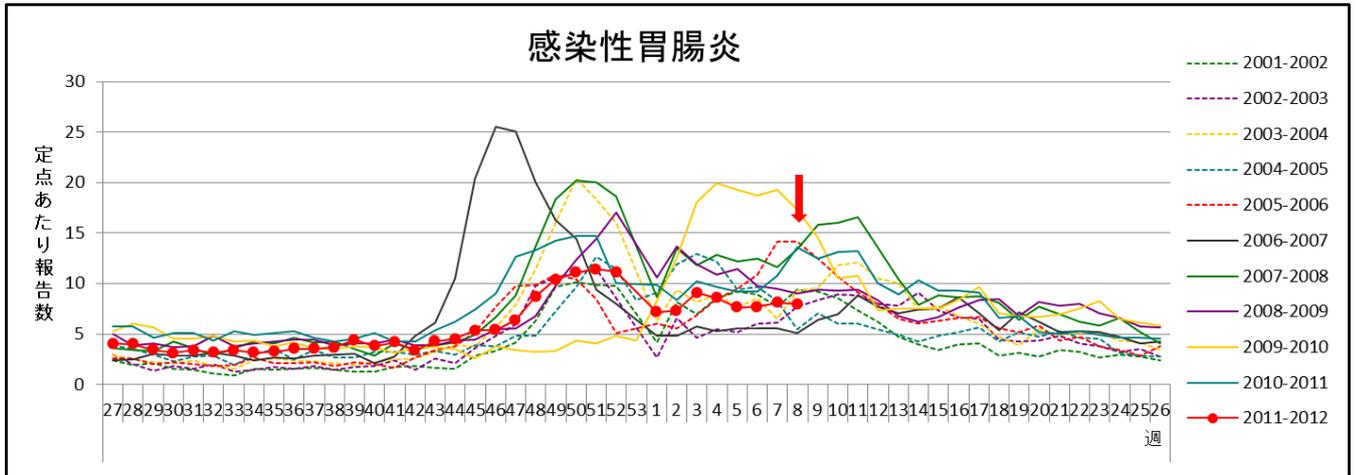
## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

## 感染性胃腸炎情報 第 8 週 2012 年 2 月 20 日～2 月 26 日

- 岡山県内の患者報告数は 431 名（ 定点あたり 7.98 人 ）で、前週とほぼ同数でした。
- 感染性胃腸炎による学級閉鎖が、高梁市の 1 施設でありました。

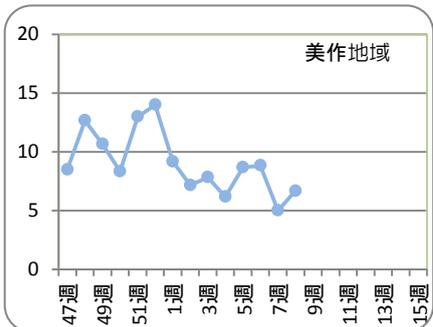
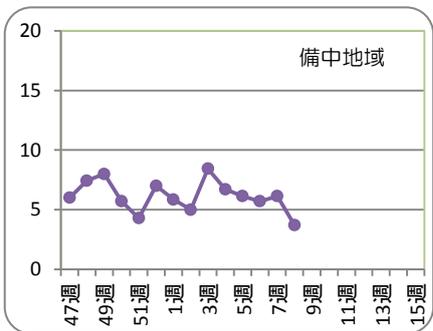
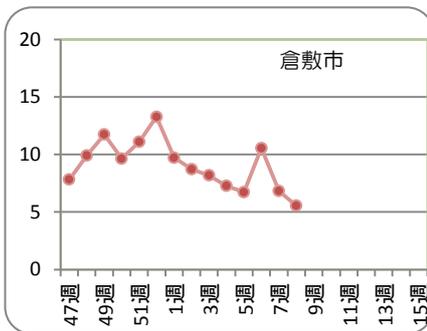
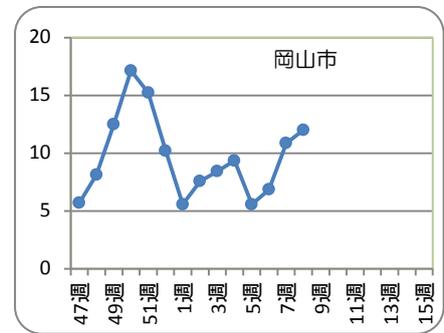
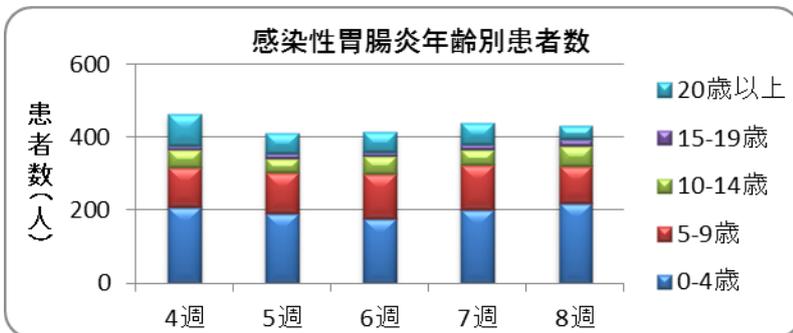


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（ 54 定点医療機関 定点あたり 8.11 → 7.98 人 ）。ひきつづき岡山市で患者が多く発生しています（ 12.00 人 ）。患者の年齢分布は 0-4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

これから春にかけて、[ノロウイルスに加えロタウイルスによる感染性胃腸炎](#)が増加します。手洗いを励行するなど、感染予防に努めましょう。

- ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・ [家庭等一般の方々へ](#) ・ [医療従事者・施設スタッフ用](#)



保健所別報告患者数 2012年 8週 (2012/02/20~2012/02/26)

2012年2月29日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1746	20.79	414	18.82	539	33.69	292	19.47	202	16.83	91	15.17	100	33.33	108	10.80
RSウイルス感染症	12	0.22	6	0.43	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	8	0.15	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.50	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	1.41	11	0.79	21	1.91	1	0.10	11	1.57	6	1.50	7	3.50	19	3.17
感染性胃腸炎	431	7.98	168	12.00	61	5.55	88	8.80	26	3.71	36	9.00	12	6.00	40	6.67
水痘	46	0.85	14	1.00	15	1.36	8	0.80	2	0.29	2	0.50	-	-	5	0.83
手足口病	7	0.13	3	0.21	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	0.11	2	0.14	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
突発性発疹	22	0.41	11	0.79	3	0.27	2	0.20	4	0.57	1	0.25	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	37	0.69	16	1.14	14	1.27	2	0.20	5	0.71	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	1.60	5	5.00	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	2	0.40	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 8週 (2012/02/20~2012/02/26)

2012年2月29日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1746	20.79	414	18.82	539	33.69	292	19.47	202	16.83	91	15.17	100	33.33	108	10.80
咽頭結膜熱	8	0.15	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.50	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	1.41	11	0.79	21	1.91	1	0.10	11	1.57	6	1.50	7	3.50	19	3.17
感染性胃腸炎	431	7.98	168	12.00	61	5.55	88	8.80	26	3.71	36	9.00	12	6.00	40	6.67
水痘	46	0.85	14	1.00	15	1.36	8	0.80	2	0.29	2	0.50	-	-	5	0.83
手足口病	7	0.13	3	0.21	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	0.11	2	0.14	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	37	0.69	16	1.14	14	1.27	2	0.20	5	0.71	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2012年 第8週 2012/02/20～2012/02/26 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1746	6	9	58	68	81	106	168	133	160	115	71	286	79	99	121	84	42	36	17	7

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	12	3	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	-	2	3	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	-	1	1	3	4	7	10	6	7	10	9	7	-	11
感染性胃腸炎	431	4	18	79	47	40	32	20	20	23	16	23	54	19	36
水痘	46	-	3	6	9	10	7	5	3	-	1	-	2	-	-
手足口病	7	-	-	5	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	-	-	1	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-	-
突発性発疹	22	1	7	11	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	37	-	-	1	3	4	3	2	6	8	2	2	6	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	-	1	3	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

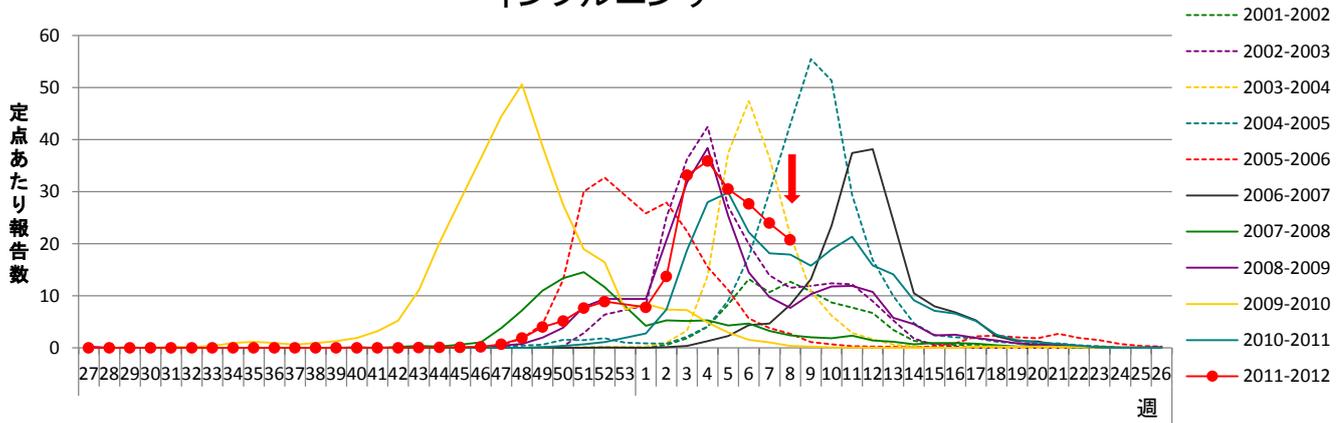
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

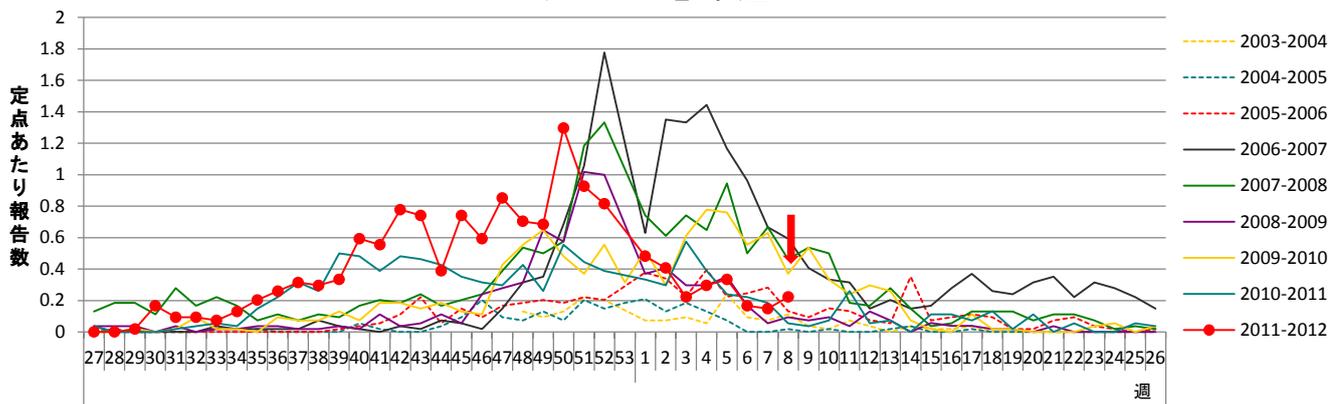
2012年 8週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	26	548	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	2	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	1	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	3	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	1	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	5	4		-	-	-		-	-	-

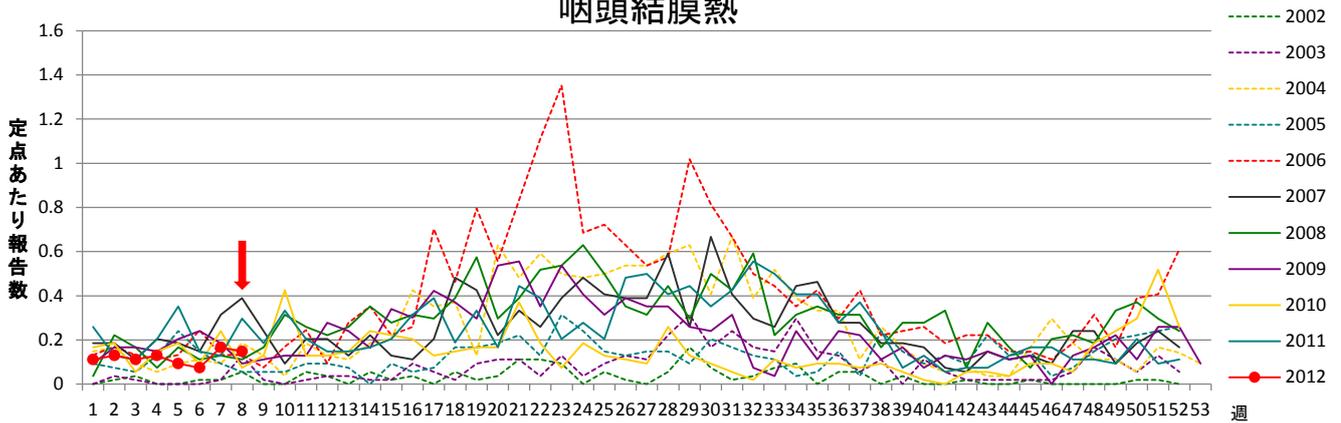
### インフルエンザ



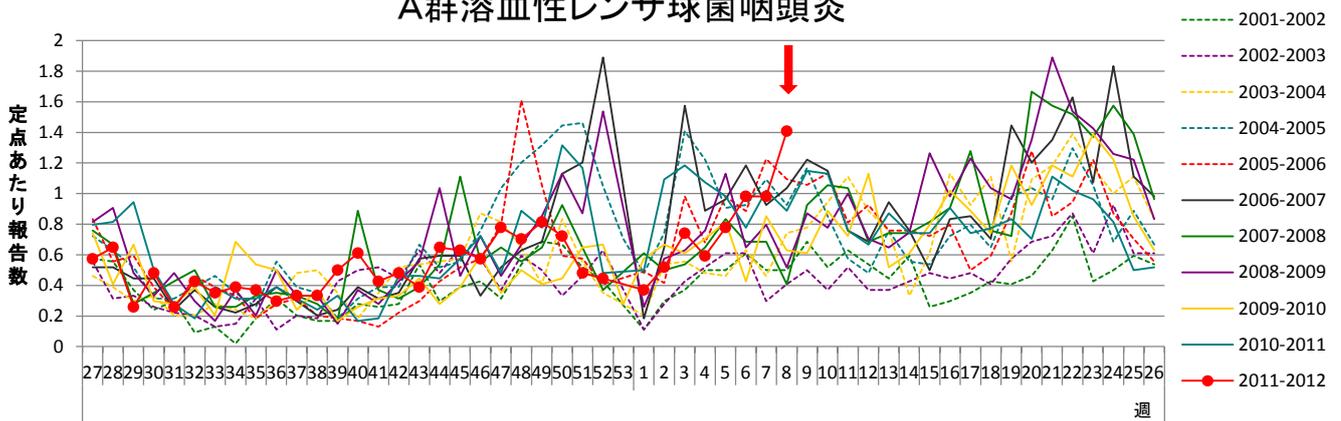
### RSウイルス感染症



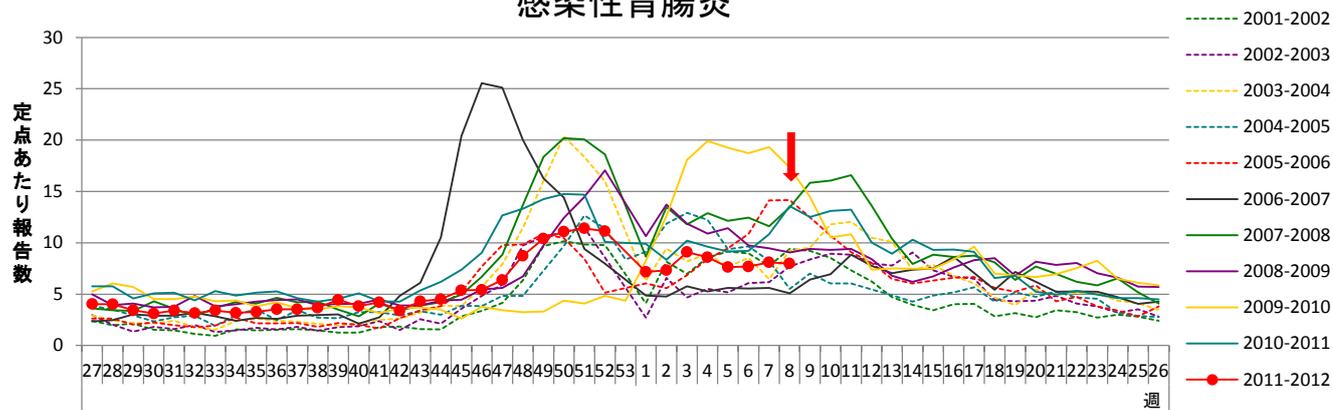
### 咽頭結膜熱



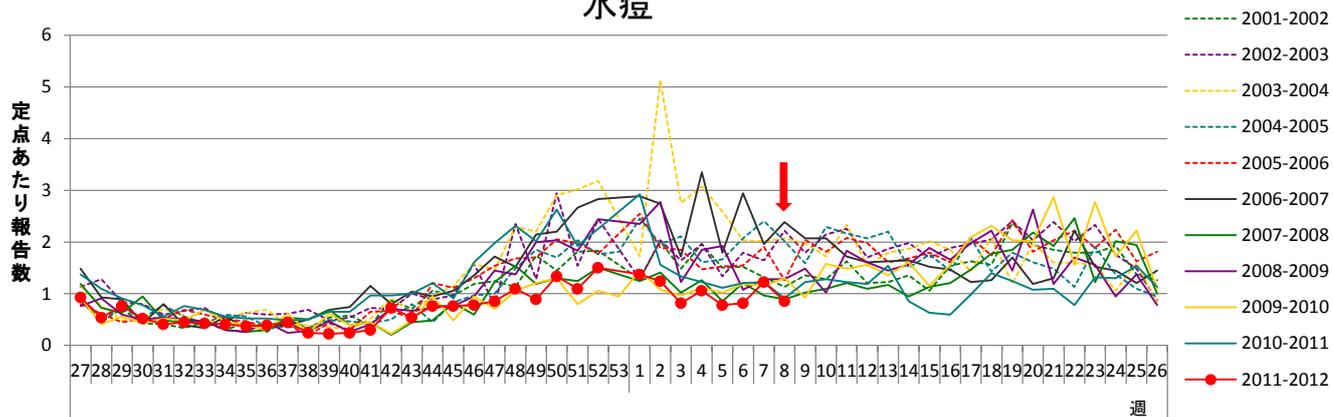
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



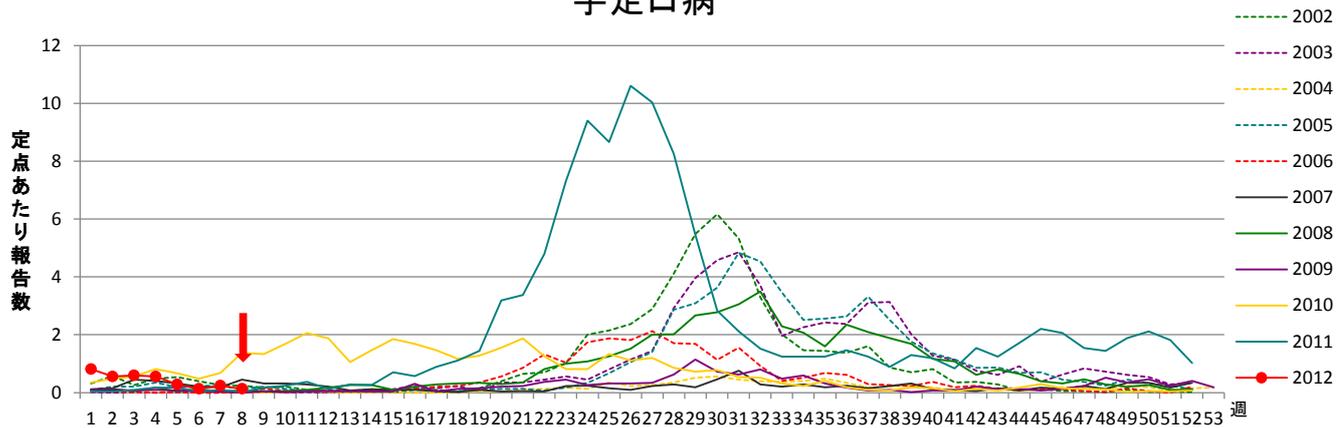
### 感染性胃腸炎



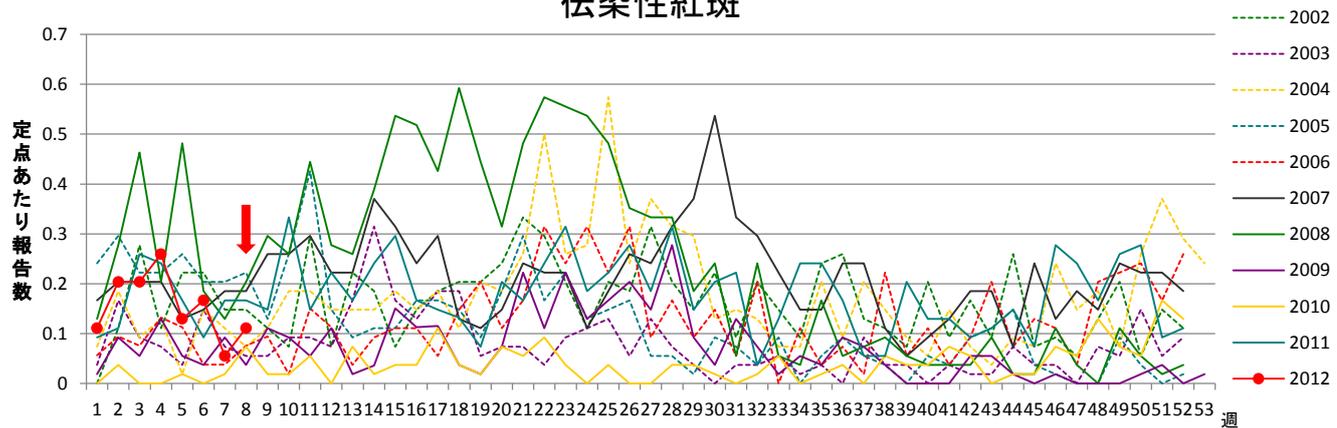
### 水痘



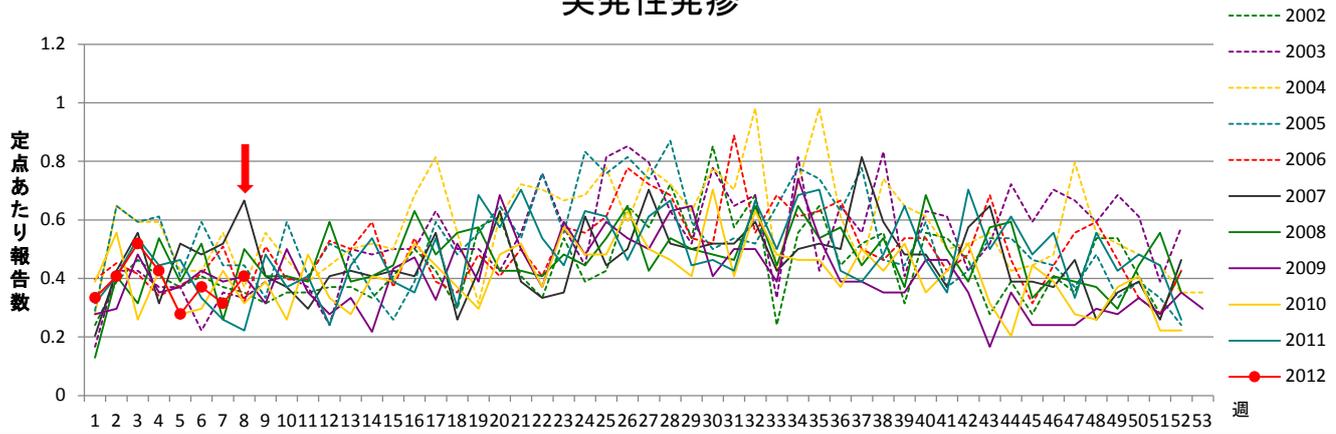
### 手足口病



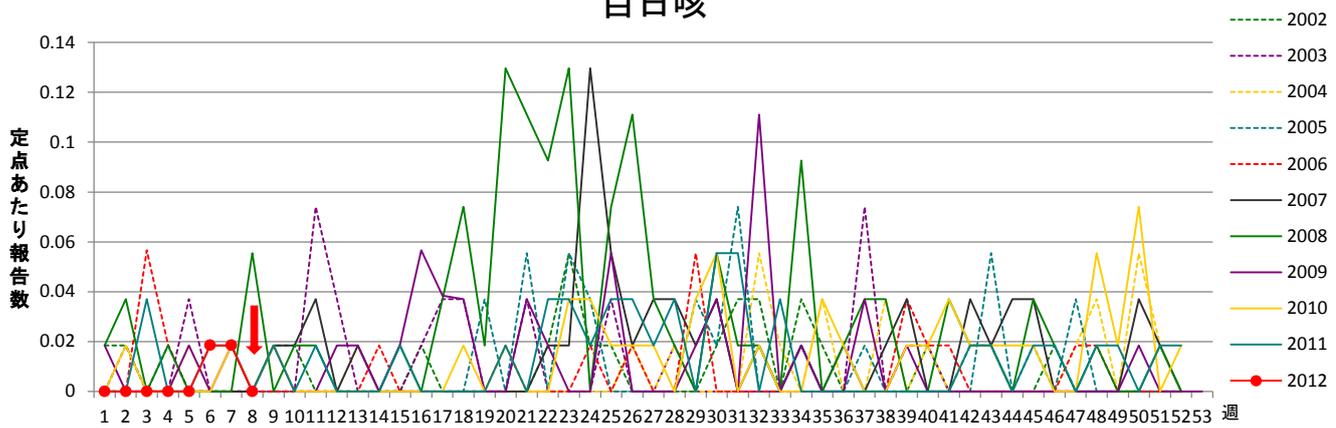
### 伝染性紅斑



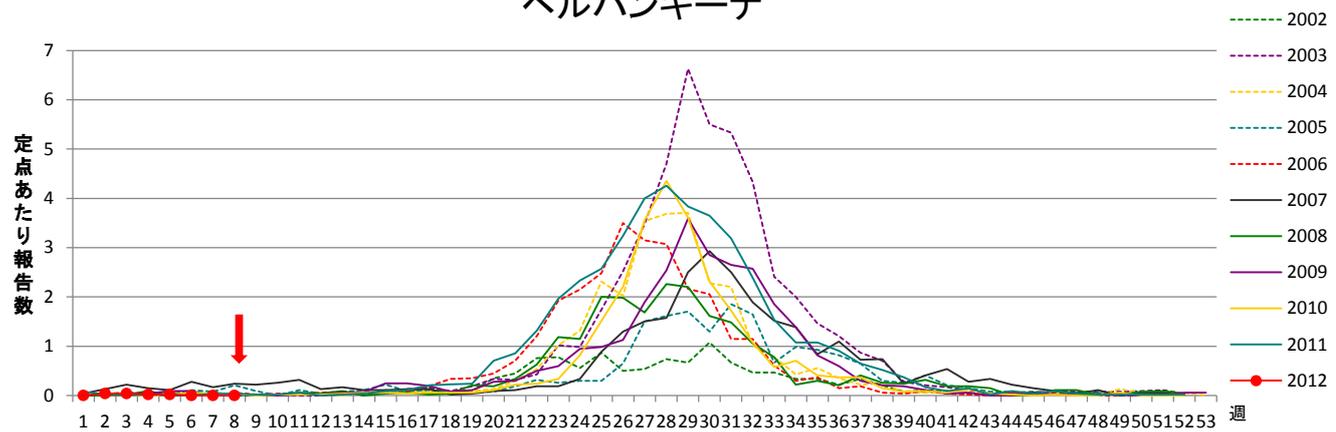
### 突発性発疹



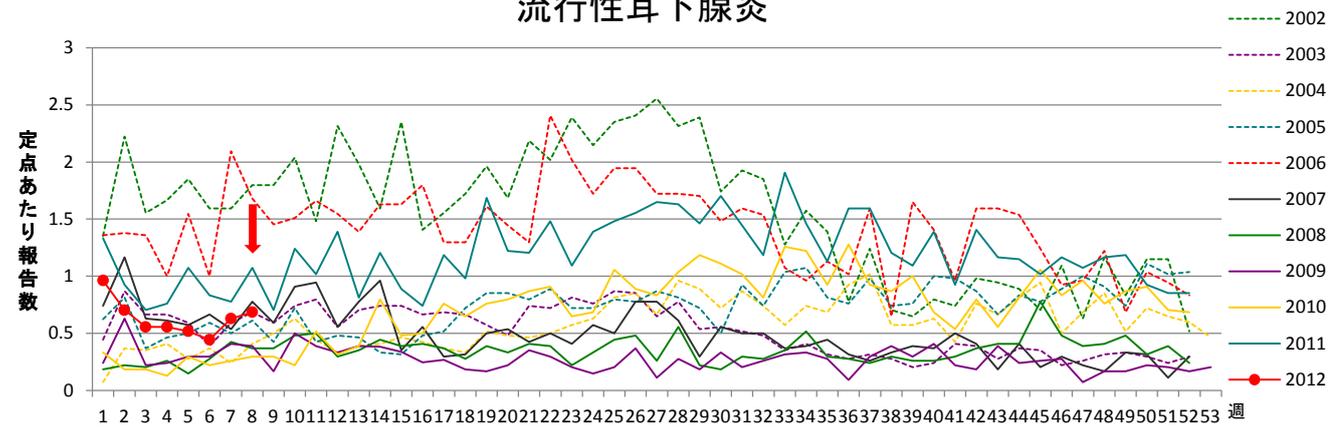
### 百日咳



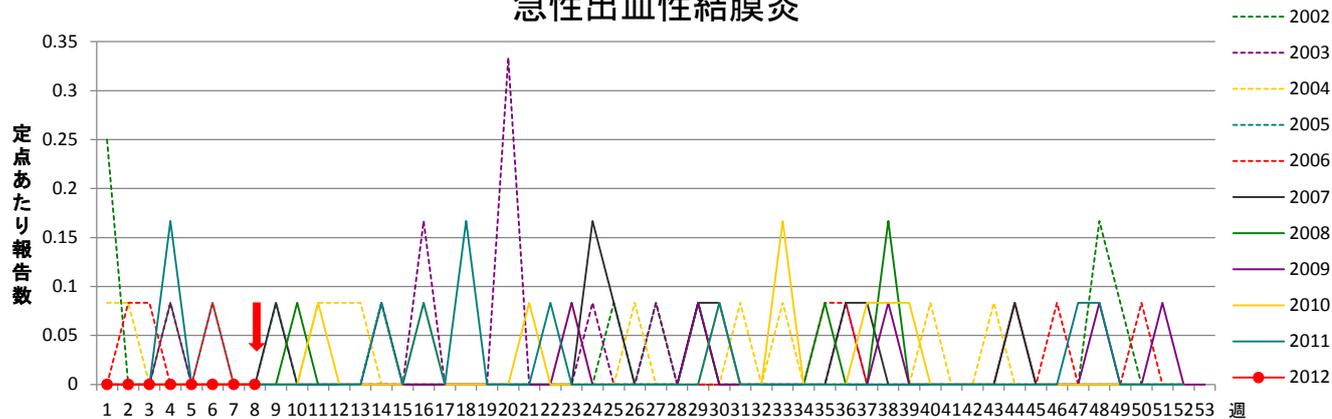
### ヘルパンギーナ



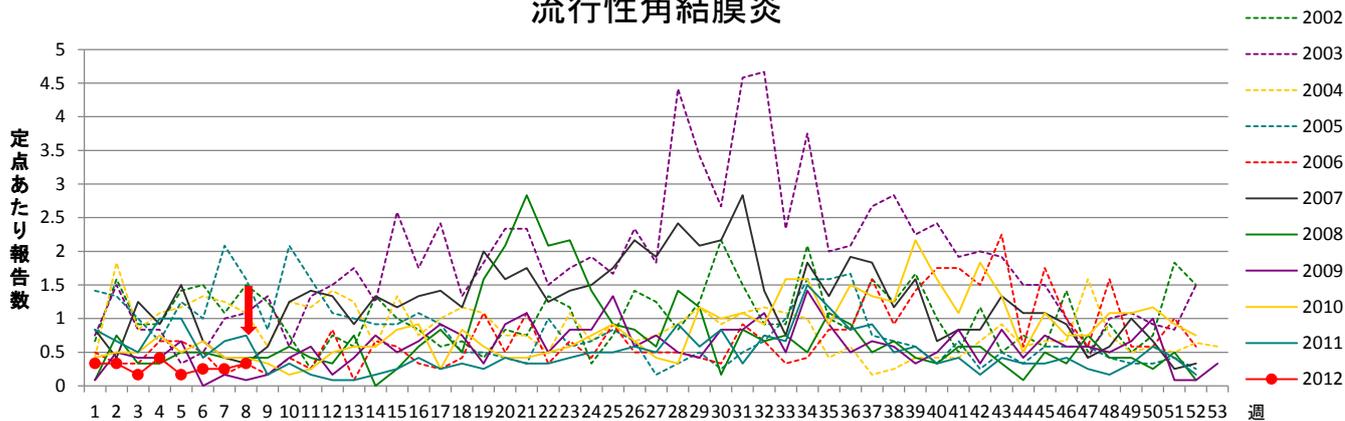
### 流行性耳下腺炎



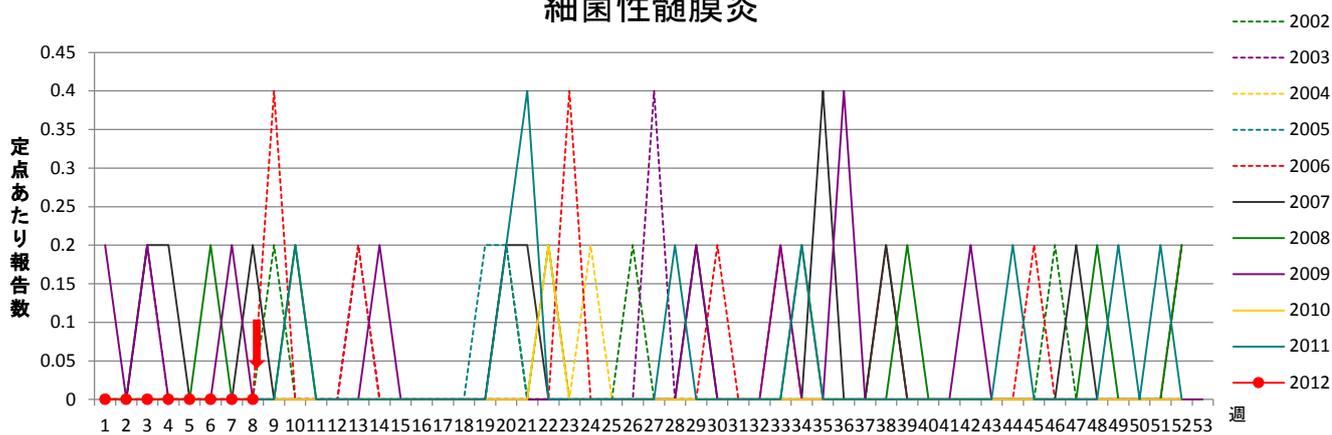
### 急性出血性結膜炎



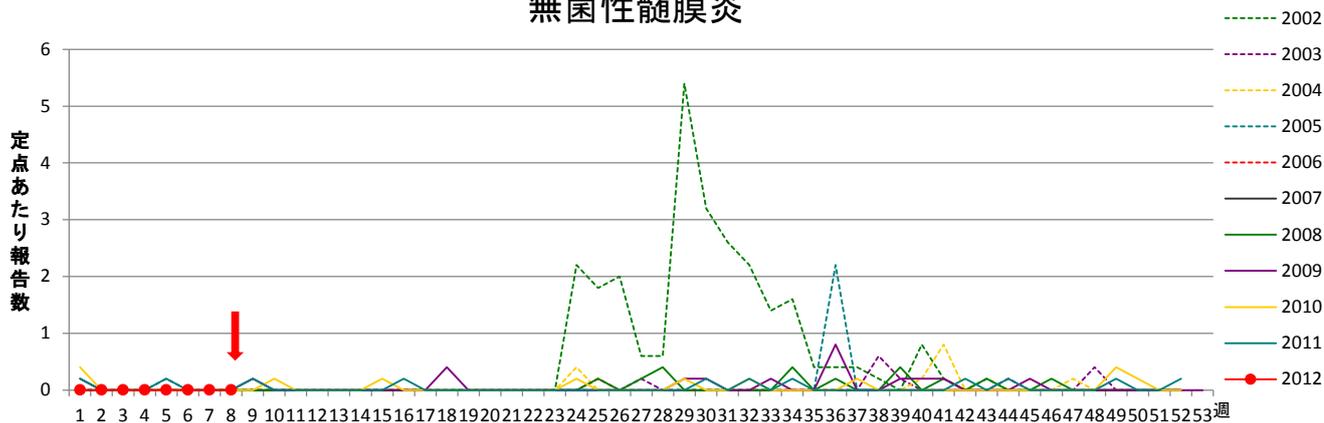
### 流行性角結膜炎



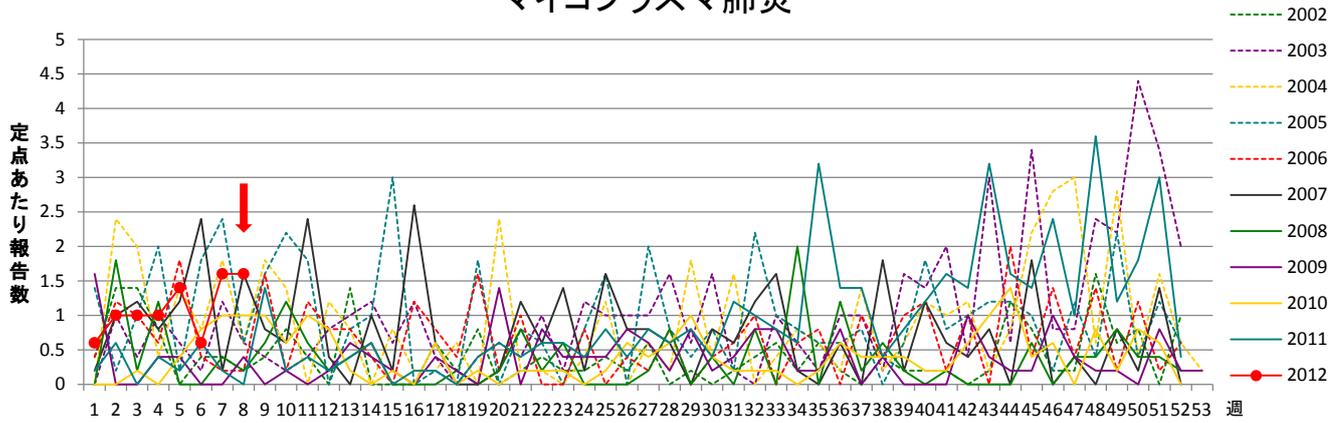
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

